

第5回(平成18年度)「北方領土の日」ポスターコンテスト

審査員選評

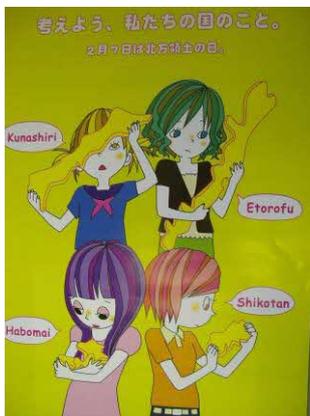


比較的大胆な構図でアピールポイントが絞られていて、分かりやすく表現されている。

また、イラスト、デザインとも全体のバランスがまとまっていて、単なるデザインではなく、優しいタッチで仕上がっている。

子どもたちが覗いている双眼鏡からは、四島の島影だけではなく、四島の生き物や植物も「ちかくにいる」ことがコピーから伝わってくる。

最優秀 NO. 124
三戸部 祥子さん(札幌市：団体職員)



他の作品と見比べると、今までの作品と違った表現の面白さがあった。

色合いがよく、啓発資材にしたときの啓発効果が期待でき、特に、若い世代の目を引きつける仕上がりとなっている。

最優秀(学生) NO.48
横地 友美さん(札幌市：北海道芸術デザイン専門学校)



優秀 NO.144
高橋 翔太さん
札幌市
商工会議所付属専門学校



優秀(高校生) NO.10
木下 麻美さん
鷹栖町
名寄農業高等学校



優秀(高校生) NO.113
前岡 里美
留萌高等学校



優秀(その他学生) NO.37
富田 恵太さん
札幌市
北海道芸術デザイン専門学校



優秀(その他学生) NO.58
楠木 麻実子さん
札幌市
北海道芸術デザイン専門学校

優秀作品は、色彩豊かな作品が多く、それぞれ表現も多様化していた。デザインではなく色合いとコピーメッセージで表現した作品、子どもの視線で絵日記をモチーフにした作品、北方領土問題を固い印象にならないようにキルトを素材に柔らかい印象で仕上げた作品、また、高校生の作品は、シンプルに北方領土返還を考えて表現した作品となっている。